



131号 2008.11

図書館だより

中央図書館 川口 1-1-1	048(227)7611	前川図書館 前川 1-3-18	048(268)1616
新郷図書館 東本郷 1688	048(283)1265	横曽根図書館 仲町 10-16	048(256)1005
戸塚図書館 戸塚東 3-7-1	048(297)3098	芝園分室 芝園町 3-17	048(269)2241
芝北文庫 [芝北公民館内]	048(227)7611		

パソコン用ホームページ URL <http://www.kawaguchi-lib.jp/docshp/index.html>

携帯電話用ホームページ URL <http://www.kawaguchi-lib.jp/opw1/IMD/IMDMAIN.CSP>

携帯用 QR コード



中央図書館芝園分室がオープンしました!!

今年4月に閉校となった旧芝園小学校の教室棟1階部分を有効利用した中央図書館芝園分室が11月1日にオープンしました。

当日は前日の雨空がうそのように晴れわたり、すがすがしい秋空に恵まれました。芝園分室入口の前庭で行われた開設式典には、岡村市長をはじめ市議会議員、地元の芝地区の町会長、その他関係団体の皆さんなど大勢の方に参加をいただき、盛大に催されました。



開設式典にて挨拶する岡村市長

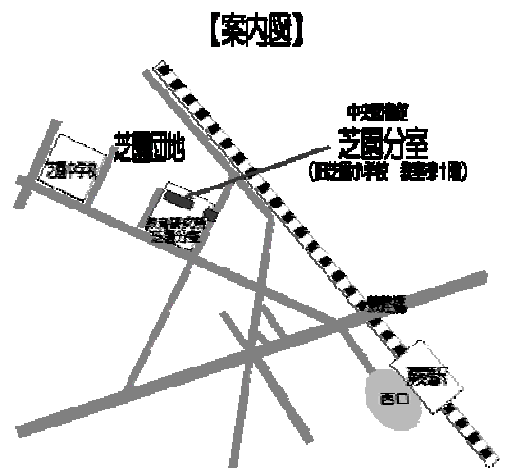
芝園分室は小学校の3教室をほぼそのまま利用したミニ図書館です。図書室には約6千冊の本とDVD数十点を所蔵し、同室カウンターでは利用カードの発行、本などの貸出、返却、読書案内、予約サービスを行っています。予約カードでお申し込みになるか、同室に設置している検索機の予約機能をお使いになれば、芝園分室で所蔵しない本なども、週5便の巡回車を利用して取り寄せすることができます。ほかに、読書や学習に利用できる子ども閲覧室、一般・学生閲覧室がありますのでご利用ください。

今後、芝園分室は地域に密着した図書館をめざします。ぜひ、来館してみませんか。

中央図書館 芝園分室 利用案内

所在地 : 川口市芝園町3-17(旧芝園小学校)
 (JR京浜東北線「蕨駅」下車 蕨駅西口から徒歩7分)
 電話番号 : 048-269-2241
 【開館時間】 火曜～金曜日 13:00～17:00
 土曜・日曜・祝日 10:00～17:00

【休館日】
 毎週月曜日(祝日にあたるときは開館)
 毎月の末日(土・日・月曜・祝日にあたるときは直前の金曜日)
 年未年始、図書特別整理期間、祝日の振替日
 駐車場はありません。お車でのご来館はご遠慮ください。



新郷近郊の史跡と植物を訪ねて

新郷図書館恒例の歴史散歩講座が11月12日にありました。今年は近場の赤井や安行慈林付近を巡るコースです。歴史を担当する岩田聡先生、そして植物に詳しい西川昭三先生のお二人に案内していただきました。当日は小雨まじりのあいにくの天候でしたが両先生方の熱心な説明に耳を傾け、起伏の多い道を歩いていると寒さも全く気になりません。

普段なら何気なく通り過ぎてしまう小さな祠にも目をやり、道端の植物を愛でる心暖まる散策でした。遺跡と紹介される場所が、現在は少しもその面影を残していなかったり、残念に思うこともありました。

歩いた距離は5キロメートルほどだったでしょうか。和やかな雰囲気の中、参加した27名の皆さんの健脚ぶりにも感心させられる秋の半日でした。

コース

新郷図書館 赤井氷川神社 赤井台（天神山）遺跡
福寿院 宝蔵院（慈林薬師寺）
慈林稲荷 金剛寺 新郷図書館



「お父さんと楽しむわらべうたと絵本」講座

10月19日（日）、中央図書館で「お父さんと楽しむわらべうたと絵本」講座を行いました。

お父さんとお子さんが一緒になって、絵本の読み聞かせを聞いたり、布を使ったり体を動かしたりして遊ぶわらべうたを楽しみました。

ここでは、講座でお配りした資料を元に“絵本選びのポイント”や“わらべうたの魅力”について、そのときの和やかな様子の写真と共に、ご紹介します。

絵本について

図書館では、出版されてから年月が経ち、版を重ねた絵本を主に所蔵しています。読み継がれている絵本は、絵・文ともに良質で、子どもにも愛されている、と考えてよいでしょう。

絵が“物語る”（絵について）

- ・可愛らしさや派手さではなく、本来の姿を正確に描いているもの。
例：「どうぶつのおかあさん」小森厚／ぶん 薮内正幸／え 福音館書店 など
- ・小さい子ども向けでは、絵の輪郭がハッキリしたもの。
例：「ちいさなうさこちゃん」シリーズ ディック・ブルーナ／ぶん・え 福音館書店 など
- ・文を読まなくても、絵だけで物語が読み取れるもの。
例：「おおきなかぶ」内田莉沙子／再話 佐藤忠良／絵 福音館書店 など

リズムとわかりやすさ（文について）

- ・ 簡素な語り口で、わかりやすく表現しているもの。
- ・ 小さい子ども向けでは、同じ言葉の繰り返しなど、心地よいリズムがあるもの。
例：「がたんごとんがたんごとん」 安西水丸 / さく 福音館書店 など

子どもが楽しめる（子どもの視点で）

- ・ 子どもが、物語の主人公になりきって、安心して楽しめるもの。

図書館で一度借りた絵本でも、お子さんが気に入っているものは、何度でも繰り返し読んであげてください。

お子さんよりも小さい年齢を対象にした絵本でも、お子さんが好きな絵本であれば、ぜひ読んであげてください。

わらべうたについて

昔から今まで歌い継がれている「わらべうた」は、その独特な言葉の響きやリズムに心地よさを感じます（例えば「ずいずいずっころばし」や「おせんべやけたかな」等も、わらべうたです）。

まだ、おはなしの内容や単語の意味がわからない小さいお子さんでも、「わらべうた」に親しみ、言葉の世界に馴染んでいくことによって、言葉に対する感覚が鋭くなるとも言われています。

それも大事ですが、まずは「わらべうた」を一つのきっかけにして、その心地よい言葉の響きとリズムを楽しみながら、親子で触れ合うゆったりとした時間を持ってほしい - ということで、図書館では「わらべうた」を行っています。

図書館では、わらべうたや絵本を楽しむ「乳幼児向けのおはなし会」を行っています。
詳しくは各図書館にお問い合わせください。

講座では、以下の絵本の読み聞かせをしました。

「がたんごとんがたんごとん」

安西水丸 / さく 福音館書店

「ぞうくんのさんぽ」

なかのひろたか / さく・え なかのまさたか / レタリング

福音館書店

川口市内の各図書館には、小さい子向けの「絵本リスト」がありますので、そちらも参考になさってください。